

平成 26 年 11 月 5 日

文部科学省委託事業平成 26 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」
「郷土に想いをよせながら」—みんな集まれ・葛尾の子どもたち—の開催について

東日本大震災および原発事故により多くの子どもたち、そしてその家族が避難を強いられました。これまで、子ども支援部門では、「再会の場」としてだけではなく、「子どもたちが主体的に活動する場」「子どもたちが自分らしさを取り戻す場」となるような事業として、「郷土に想いをよせる同窓会（以下、同窓会事業）」を進めてまいりました。「同窓会事業」は、福島県内では、浪江町津島地区、川内村、飯舘村、大熊町の子どもたちを対象に実施を行ってまいりました。

今回は、葛尾村教育委員会の協力を得て、11月8日（土）、9日（日）一泊二日の日程で同窓会事業を実施いたします。20名弱の参加申し込みをいただいております。

プログラムでは、葛尾村に関するクイズを解きながらのオリエンテーリングや、葛尾村の四季をイメージした踊りである「葛尾川」を踊るなど、ただ楽しく過ごすだけでなく、故郷を思い出す工夫をちりばめています。子どもたちが、自分たちが住んでいた地元について改めて知ること、自分と故郷との関係について改めて振り返るきっかけになり、明日に向かって進んでいく力になればと考えております。

「郷土に想いをよせながら」—みんな集まれ・葛尾の子どもたち—

日 時：平成 26 年 11 月 8 日（土）～9 日（日）

会 場：いわき海浜自然の家（福島県いわき市久之浜町田之網字向山 53）

プログラム：葛尾村クイズ、オリエンテーリング、葛尾川の踊り、など

【お問い合わせ先】福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

浅井 電話／FAX：024-504-2875

Mail：fure-kodomo@ipc.fukushima-u.ac.jp

「郷土に想いをよせる同窓会事業」 —みんな集まれ・葛尾の子どもたち—

福島大学つくしまふくしま未来支援センター
子ども支援担当 特任研究員
浅井継悟



本日の発表内容

- 「郷土に想いをよせる同窓会事業」の説明
- 2014年11月8日-9日に開催予定の葛尾村を対象にした同窓会事業:「郷土に想いを寄せながら—みんな集まれ・葛尾の子どもたち—」の紹介



「郷土に想いをよせる同窓会事業」とは

文部科学省委託事業
「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

目的

震災を機に郷土を離れ、家族や友人と離れてしまった子どもたちに、郷土の良さを感じたり見つめ直したりすることができるような「同窓会」を実施し、これをモデル化し提供するものである。

活動実績

浪江町津島地区、川内村、飯館村、大熊町で実施。

3

同窓会事業へのニーズの変化

過去の様子

「もう一度同じクラスだった友だちと一緒に学習し...

現在

郷土に戻るとのことだけを重視するよりも、新たな環境に定住している人々のニーズも必要になってくるのではないかと...

再開の場としてだけではない
“同窓会事業”の実施

震災から3年以上経過

郷土に想いをよせる同窓会事業 —おおくまっ子みんな集まれ—

今回の特徴

外部から入手可能な資料に載らないような、より細かな地域の実態に応じた情報の入手が

地域との連携を最大限に生かした
プログラム

なっで集める活動

郷土に想いをよせる同窓会事業 —みんな集まれ・葛尾の子どもたち—

- 日時:2014年11月8日-9日(一泊二日)
- 場所:いわき海浜自然の家
(福島県いわき市久之浜町田之網字向山53)
- 参加対象者:葛尾村出身の小・中学生
- 参加費:無料(遠方の方の交通費は一部負担)
- 参加者20名弱

実施プログラム(11月8日)

時間	活動内容
13:30	受付開始
14:00	開会式
14:30	葛尾村オリエンテーリング
18:00	夕食
19:00	葛尾村に想いをよせながら① ～みんなで踊ろう葛尾村の踊り～

実施プログラム(11月9日)

時間	活動内容
9:30	葛尾村に想いをよせながら② ～葛尾村にふれてみよう～
12:00	昼食
13:15	閉会式
13:30	解散

今後の展開

- これまでに行ってきた同窓会事業のまとめの実施

